

5月18日(現地)のブラジル株式市場の下落について

大和証券投資信託委託株式会社

5月18日(現地)のブラジル株式市場は、ボベスパ指数で3.22%の下落となりました。ブラジル当局がクレジット/デビットカード決済業界に対し、手数料率引き下げを求めたことや、ドイツの金融取引規制強化の動きが相場の押し下げ要因となりました。

ブラジル当局がクレジット/デビットカード決済業界に手数料率引き下げを求めたことから、業界大手2社(シエロ社、レデカード社)の業績悪化が懸念され、2社の株価は前日比でおよそ11~14%の急落となりました。さらにドイツが、ユーロ圏の国債と関連するCDS(クレジット・デフォルト・スワップ:企業の信用リスクを対象とした金融派生商品)およびドイツの主要金融機関株式10銘柄を対象にしたネーキッド・ショート・セリング(現物の裏付けのない空売り)を、一時的に禁止すると発表したことを受けて、投資家のリスク資産回避の動きから下げ幅が拡大する展開となりました。セクター別では、クレジット/デビットカード決済業務大手2社が含まれる情報技術セクターが大幅下落となったほか、小売株や住宅建設株が含まれる一般消費財・サービスセクターの下落も目立ちました。

ブラジル株式市場は、短期的には、値動きの荒い相場展開が予想されます。不透明感の残るギリシャをはじめとする欧州の財政赤字問題などによる投資家のリスク資産回避の動きや、中国や米国の金融政策の動向次第では、一時的に相場が調整する可能性も考えられます。しかし、ブラジル株式市場の投資魅力は依然として高く、中長期的な成長見通しにも変化はありません。ブラジルでは、経済の安定、成長に伴い中間所得層の増加が想定されるほか、過去と比べて相対的に低い金利によって銀行融資の増加が期待されるため、民間消費の拡大が見込まれます。また、2014年にはサッカー・ワールドカップ、2016年にはオリンピックが開催されるため、社会基盤整備への投資も加速することが想定されます。ブラジル株式市場は、中長期的にはこうしたブラジルの潜在成長性を反映した相場展開になることが期待されます。



以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会